

森川皮膚科通信



No. 6

企画/編集：森川皮膚科医院
<http://www.morikawa-hifu.com/>

6月1日(水)

レーザー治療

6月に入り花粉も一段落したようです。今度は梅雨の時期ですね。今回は、外来で聞かれることの多いレーザー治療についてお話ししたいと思います。レーザーにも色々種類があり一般の患者さんにはわかりづらい面が多いと思いますが、できるだけわかりやすく分類してみました。(院長 森川貴仁)

シリーズ最新医療

レーザー治療の適応と種類

レーザー(LASER)はLight Amplification by Stimulated Emission of Radiationの略で、日本語にすると「放射の誘導放出による光の増幅」という意味です。かの有名なアインシュタイン博士がレーザーの理論を発表して、レーザー治療の布石としてアメリカのメイマン博士という人が1960年に開発をしました。メイマンが成功した翌年の1961年には、アメリカの眼科で網膜剥離の手術にレーザー治療が使われ、1970年には膀胱結石の手術にレーザー治療が使われました。現在では、日本でも多くの医療分野でレーザー技術が応用されるようになり、多くの人々に利用されています。1975年前後に日本においても炭酸ガス、ルビー、アルゴン、Nd:YAGレーザーが導入されています。

レーザーの詳しい原理をここで説明するよりも、皆さんが知りたいのは「どの様な病気にどの様なレーザーが有効であるか?」という点だと思いますので、レーザーの種類と、適応になる病気、注意点を説明したいと思います。

レーザー治療でまず大事なことは、皮膚にできている病気の色調で

す。一つのレーザーは一つの色素にしか反応しない様になっていきますから、黒色調であるのか、赤色調なのかをまず検討します。次に重要なのが、シミが皮膚のどの位深くまであるのかを推定します。レーザーの種類によって皮膚の到達できる深さに違いがあるからです。それでは、疾患ごとにどのレーザーが適切かお話ししたいと思います。

老人性色素斑(一般的な老人性シミ)

老人性色素斑は、やや褐色調から黒色調で、皮膚の浅い範囲に分布しています。このシミにはQスイッチルビーレーザー、Qスイッチアレキサンドレーザーがよく用いられます。ルビーレーザー、アレキサンドライトレーザー共にQスイッチとノーマルパルスがありますが、Qスイッチとはより短時間に出すことができる装置です。これは、周囲の正常な細胞を傷つけずに、特定のシミのみを破壊するために有効です。個人差はありますが、1回の治療で消える場合が多いようです。

太田母斑、異所性蒙古斑

太田母斑は生後間もなく、あるいは、思春期に現れる顔のあざの一つです。蒙古斑は生後1週から1ヶ月ころまでに、青いシミがお尻や背中下部にみられるものです。日本人にはほぼ100パーセントにみられ誰でも知っているあざのひとつですが、5、6歳までに自然に消失しさほど問題にはなりません。ところがまれに通常の

部位以外にも蒙古斑がみられることがあり、これを異所性蒙古斑といいます。異所性蒙古斑も自然消失する場合がありますが、成人してからも続くようですと治療の対象になります。太田母斑も異所性蒙古斑も青色から茶色に見えることが多く、Qスイッチルビーレーザー、Qスイッチアレキサンドレーザーが用いられます。通常、1回の治療では効果がなく、5、10回、3、4ヶ月間隔で施行する場合があります。

単純性血管腫

一般的には赤あざと言われており、生下時より見られ自然に消えることはありません。治療には色素レーザー(ダイレーザー)が用いられます。long pulse YAG 532はダイレーザーに比べ太い血管に治療効果が高いようです。通常3、4回繰り返し治療することが多いようです。

色素性母斑(ほくろ)

外来診療で一番多く聞かれるのがほくろの治療です。ほくろのレーザー治療は状態によって使い分ける必要があります。簡単に説明しますと、焼いて取る方法(炭酸ガスレーザー、エルビウム・ヤグレーザーなど)とメラニン色素に選択的に作用する(ルビーレーザー、Qスイッチルビーレーザー、Qスイッチアレキサンドレーザー)方法に分けられます。ほくろが隆起している場合は、個人的には手術で切除した方が確実であると考えております。どうしても隆起しているほくろをレーザーでと

りたい場合は、炭酸ガスレーザーで数回に分けて取るのが良いと思われます。大きな隆起性のほくろを一度に取るうとすると、傷跡が残るからです。又、炭酸ガスレーザーにも連続派と、断続的にレーザー光を出すpulse炭酸ガスレーザーがあり、連続波のほうが値段が安いので、導入している医院も多いのですが、傷が残りやすい傾向にあるため、pulse炭酸ガスレーザーをお勧めします。又、平らで小さなほくろにQスイッチルビレーザー、Qスイッチアレキサンドレーザーを照射する場合がありますが、メラニンを作る母斑細胞が残るため再発することが多いようです。

脱毛

最近では脱毛もレーザーで治療可能です。脱毛で使用されるのは、long pulseアレックスレーザーです。毛に吸収されたレーザー光が熱に変わりその熱で毛根を破壊するのがレーザー脱毛のメカニズムです。従ってQスイッチのものでは脱毛効果は出ません。

シワ、ニキビ跡

先ほどお話ししたpulse炭酸ガスレーザーの中でもウルトラパルス、スーパーパルス、フェザータッチという機能を持った機械は熱の影響をさずに皮膚の表面をごく浅く削ることが可能です。この機能でシワやニキビ跡の凸凹を削り皮膚をなめらかにすることができます。これをレーザーピーリングといいます。レーザーで皮膚表面を焼き、新しい皮膚を再生させるため、1週間ほどかさぶたとなり、日常生活に支障をきたすため注意が必要です。

又、最先端の治療としてクールタッチというレーザーを最近では聞かれることもあるかと思えます。long pulse YAG 1320レーザーの商品名です。

このレーザーは細胞を破壊するのではなく表皮の下で肌の張りを保つ働きをしている真皮にある線維芽細胞を刺激して新しいコラーゲンを造ります。炭酸ガスレーザーでのシワ、ニキビ跡治療との最

大の違いは皮膚の表面に全く損傷を加えないことです。そのため日常生活には全く制限は加えず治療可能です。すぐに効果は出ませんが徐々に肌の張りがでてきたりニキビ跡の陥没が改善されます。ただし治療効果には個人差がかなりあるようです。(院長 森川貴仁)

参考文献

「あざのレーザー治療」 平山 俊
他 克誠堂出版株式会社

シリーズ医療保険情報

保険診療と保険証

こちらのコラムでは、治療費や会計など患者さまからのご質問などを中心に、保険診療のお話を掲載しております。今月もどうぞ宜しくお願い致します。今月は保険診療のしくみについて、お話させていただきますと思います。

皆様が初めて病院や診療所に診察に来られた時、(一部ピアスの穴あけなどの自費診療の方は除いて)保険証を提示して頂き、カルテに登録させていただきますが、この「保険証」とは、保険料を納入して保険診療を受けることができるいわゆる「証明書」のような大切なものです。社会保険(社保)の方は事業主と半分ずつ世帯主の給与から控除して保険料が納められ、ご家族は被扶養者になります。国民健康保険(国保)の方は世帯ひとりひとりについて世帯単位で保険料を納入しますので、全員が被保険者となります。国保の保険料は市町村の窓口に入りますが、口座からの自動引落としを利用する方も多く、最近ではコンビニエンスストアでの保険料支払いを導入する市町村もあり便利になりました。皆様に普段提示していただいている「保険証」はこのように保険料を毎月納入して発行されているものでありますので、万が一保険料の滞納が続くと発行されず、原則七割の医療費の保険適用分をご自分でお支払いすることになってしまいます。

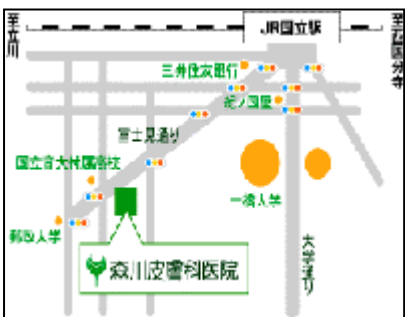
先月号でも少しだけお話ししましたが、保険診療の範囲は「保険医療機関および保険医療費担当規則」に細かく定められていて、美容目的の手術や歯列矯正、予防注射、そして健康診断や人間ドック、妊娠の診察および分娩は保険診療としては扱いません。また保険診療と保険証について「医療機関は保険診療を求められたときには、受給資格の有無を保険証により確認しなければならぬ」とされており、ほとんどの医療機関が、患者さまの頻雑さを避け、月替わり最初の来院時から、月に一度確認させていただいているかと思えます。当院でもお願いしております。どうぞご協力下さい。

当院では少しでも待ち時間を減らし、患者さまに時間を有効に使っていただくために予約制を導入しておりますが、完全予約制ではございませんので予約のない方も随時受付しております。そのためお約束のお時間より遅れてしまうこともございますが、何卒ご了承下さいませ。

これからも患者さまからのお問い合わせを中心に、保険診療のお話など出来る限り幅広く紹介していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。(受付事務 渡辺千夏)

あしがき

今回、「シリーズお肌のケア」は休ませていただきます。
医院自家製石鹸試用レポートですが、第1号の試作品に比べ、におい、あわ立ちが改善されまもなくお披露目となりそうです。後は外観の問題でしょうか？



TEL : 042-572-5183

FAX : 042-572-5112